

12月6日 待降節第2主日

イエスへの道を備える

ルカによる福音書3章1～6節

¹皇帝ティベリウスの治世の第十五年、ポンティオ・ピラトがユダヤの総督、ヘロデがガリラヤの領主、その兄弟フィリポがイトラヤとトラコン地方の領主、リサニアがアビレネの領主、²アンナスとカイアフアとが大祭司であったとき、神の言葉が荒れ野でザカリアの子ヨハネに降った。³そこで、ヨハネはヨルダン川沿いの地方一帯に行って、罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた。⁴これは、預言者イザヤの書に書いてあるとおりである。

「荒れ野で叫ぶ者の声がある。

『主の道を整え、

その道筋をまっすぐにせよ。

⁵谷はすべて埋められ、

山と丘はみな低くされる。

曲がった道はまっすぐに、

でこぼこの道は平らになり、

⁶人は皆、神の救いを仰ぎ見る。』」

他の朗読：バルク5：1～9 詩編126編 フィリピ1：3～6,8～11

Lectio…読む

ルカは今語ろうとしていることが正確にいつ起こったことなのか、人々がわかるように望んでいます。洗礼者ヨハネが急に表舞台に現れたのは事実であると考えています。ヨハネの物語はルカによる福音書1章と2章で展開し始めます。

すべてのユダヤ人はローマ皇帝ティベリウスを知っていたはずですが。パレスチナはローマの支配下にあったからです。そしてローマの地方総督であるポンティオ・ピラトは悪名をとどろかせていました。またユダヤ人たちはおそらく、領主や王であったヘロデ家のさまざまな人々についても知っていたことでしょう。大祭司アンナスやカイアフアの名前もよく知られたものだったに違いありません。

このローマ占領下の緊迫した政治的状況において、ヨハネは神から与えられた彼の使命を、ヨルダン川の谷で始めたのです。彼は悔い改めと洗礼について説きました。望んだ者には、彼らの罪を悔い改めさせ、ヨルダン川で公開の洗礼を授けました。それはとても大勢の人が望んだのです。

ルカはヨハネの宣教をイザヤ書にある預言の「荒れ野で叫ぶ者の声」に関連づけています。イザヤ書において、その預言は捕囚となったユダヤ人のバビロンから祖国への帰還について語っています。ヨハネの宣教はイエスを指し示し、イエスへ向かう道を準備するものでした。

ルカはこの預言にふたつの意味を持たせようとしています。ヨハネが捕囚の民を祖国へ帰還させる道を宣言したこと、そして「荒れ野に叫ぶ」ヨハネの声は、人類すべてが罪深く非寛容で実を結ばない心を、イエスの宣教に向けて準備する機会を与えていることです。どのようにしてでしょうか。「その道筋をまっすぐに」して自分の罪を悔い改めることによってです。

Meditatio…黙想する

あなたが異国の地に、それも奴隷として生活させられていると想像してみてください。どんな気持ちになりますか。あなたは何を一番に祈るでしょうか。

ヨハネの宣教を歴史の中の人々や出来事に結びつけることが、どうしてルカにとってそんなに重要だったのだと思いますか。

ヨハネの使命は人々がイエスに出会うための道を準備することでした。今日の人々がイエスに出会えるように、私たちはどんな準備をすることができるでしょうか。人々にはどのような妨げがあるのでしょうか。私たちはどのように助けることができるでしょうか。

Oratio…祈る

詩編 126 編は過去の救いに対する感謝と助けを求める訴えについて歌っています。私たちの罪を赦すことができる神に感謝し、過去においてあなたを救ってくださった時のことについて賛美をささげましょう。

今特別な助けを必要としている人々のために祈りましょう。もしあなたが困難な状況にあるなら、あなたも誰かに自分のために祈ってくれるように頼むことができないでしょうか。

「人は皆、神の救いを仰ぎ見る」というイザヤの祈りに加わりましょう。あなたが知っている人々のために特に祈りをささげましょう。

Contemplatio…観想する

フィリピの朗読箇所は希望溢れる豊かな土台を与えてくれます。これらの約束を自身のものとしてください。来るべき一週間、キリストの到来の日について、そしてイエスの私たちの内における任務が完成するときに、イエスに会えることの希望について思い巡らしてみてください。神が私たちの人生を形作り、ご自身の栄光へと引き入れてくださるようお願いしましょう。